HTLV-1／2 抗体	2400100
	担当部署
HTLV-1／2	生化

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		特記事項なし
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→感染症・ウイルス→
	2	
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		特記事項なし
検査受付時間		8：15～16：00

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	特記事項なし
検体採取の特別なタイミング	特記事項なし

検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-

検体搬送条件	室温
検体受入不可基準	1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体
保管検体の保存期間	冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟３階　中央検査部
測定時間	当日中～翌日
生物学的基準範囲	設定なし
臨床判断値	陰性：Ｃ.Ｏ.Ｉ.が１.０未満を示す検体は陰性と判定します。 陽性：Ｃ.Ｏ.Ｉ.が１.０以上を示す検体は陽性と判定します。 ルミパルス HTLV-1 試薬添付文書

基準値				単位	COI
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
0	0.9	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

パニック値	高値	設定なし
	低値	設定なし
生理的変動要因		特記事項なし
臨床的意義		HTLV-Iｳｲﾙｽは、成人Ｔ細胞白血病(ATL;Adult T cell Leukemia)の起因ｳｲﾙｽです。 HTLV-I は細胞内に取り込まれた後、ｳｲﾙｽ RNA が逆転写酵素により DNA に変換され、細胞の DNA に組み込まれ、ｳｲﾙｽは体内から排除されないと考えられています。HTLV-I に感染した大部分の患者が、このｳｲﾙｽ関連抗原に対する抗体を保有していることが明らかとなり、臨床検査として HTLV-I 抗原の検出が困難であることから、抗 HTLV-I 抗体を検出する方法が一般的に実施されています。 です。 抗 HTLV-I 抗体の検出は、成人 T 細胞白血病や HTLV-I 関連脊髄症(HAM)の診断補助、および HTLV-I の母から児への垂直感染、性行為等による水平感染が疑われた場合の検査用試薬として有用と考えられます。 また、HTLV-II ｳｲﾙｽは、HTLV-I ｳｲﾙｽと類似のｳｲﾙｽであり、まだ完全には証明されておりませんが、脊髄障害との関連について示唆されています。 ルミパルス HTLV?I/II 試薬添付文書